

とちぶん会報

No.68

2022年7月10日

栃木県文芸家協会 発行人 福田 三男
事務局／栃木県下都賀郡壬生町中央町 16-18 三上 方
〒321-0226 TEL090-9318-2492

役員会及び令和4年度定期総会を開催・新役員が決定

役員会が4月16日(土)おかりやにて開催され、7名の理事・会計が出席しました。令和4年度総会審議案件その他が審議され、出席者に了承されました。

令和4年度栃木県文芸家協会総会が、5月22日(日)午後1時30分から栃木県教育会館において開催されました。福田会長が議事進行を務めました。会員18名が出席いたしました。

審議事項の①令和3年度栃木県文芸家協会事業報告、②令和3年度栃木県文芸家協会収支決算報告、③令和4年度栃木県文芸家協会事業計画、④令和元年度栃木県文芸家協会収支予算、⑤任期満了による役員改選について、事務局からの説明があり、審議のうえすべて承認されました。その他として、夏季講演会の実施について、福田会長から説明がありました。

なお今回の総会配付資料は、協会ホームページにおいて、会員限定で閲覧可能となっています。総会を欠席された方は是非ご覧になってください。

例年総会終了後に開催された懇親会は、新型コロナウイルスの影響により中止となりました。

<令和4・5年度役員> *アンダーラインは新任

- | | | | |
|--------|------------------|-----------------|-----------------------------------|
| ◇ 会 長 | 福田 三男(小説) | ◇ 副会長 | 高杉 治憲(小説) |
| ◇ 理 事 | 宇賀神 忍(評論) | <u>国母 仁(随筆)</u> | <u>藤田 香月(随筆)</u> <u>こやま きお(詩)</u> |
| | 福澤 悦子(短歌) | 三上 博史(川柳) | |
| ◇ 事務局長 | 三上 博史(川柳) | ◇ 会 計 | 神長 昭治(詩) |
| ◇ 監 事 | <u>相馬 龍久(創作)</u> | 国井 和子(随筆) | ◇ 顧 問 高田 太郎(詩) |

<令和4・5年度『朝明』編集委員> *アンダーラインは新任

- | | |
|-------|--|
| ◇ 委員長 | 三上 博史(川柳) |
| ◇ 委 員 | 国井 和子(随筆) <u>国母 仁(随筆)</u> <u>松林 厚子(随筆)</u> |
| | こやま きお(詩) 福澤 悦子(短歌) |

※上記6名に、高田顧問、福田会長、高杉副会長の3名が加わり計9名の構成。

夏季講演会を開催します・講師は堀江一郎先生

夏季講演会は、コロナ禍により昨年度の開催は中止となりましたが、今年度は8月28日(日)に開催することとなりました。講師に文星芸術大学の堀江一郎先生をお迎えして以下の内容で行います。会員の積極的な参加をお願いいたします。

なお、総会において配付した今年度事業計画の資料では「8月21日(日)」に夏季講演会を開催することが予定されていましたが、会場の都合により変更となりました。お間違えのないよう、よろしくご承知おきください。

- 日 時 令和3年8月28日(日) 午後1時30分～3時
- 会 場 栃木県教育会館 [宇都宮市駒生1-1-6/TEL 028(621)7177]
／JR宇都宮駅方面から関東バス「作新学院・駒生」行きに乗車し「東中丸(会館前)」下車
* 駐車場有り
- 講 師 文星芸術大学 堀江 一郎先生
- 演 題 「アートとエンターテインメントの間ー「分業」による作品制作についてー」

- * 内容／文学作品といえ、一人の作家が内省をもとに書き上げるもの。しかし、アニメーションはもちろん、小説やマンガ、音楽まで、「複数の人間」が協力して作った「名作」は、世に数多く存在します。

文学、名作、芸術…これらのワードの境界線とは？ 共作や分業によって作られた、エラリー・クイーンの小説、ビートルズの楽曲、マンガ「あしたのジョー」等々は、芸術ではないのか？

執筆は孤独な作業…と思っている作家の方々の目にはなんとも不思議に映るであろう「共同制作」「分業」について考えます。

- * 講師紹介／1962年愛知県生まれ。1986年株式会社小学館に入社。「ビッグコミックオリジナル」「週刊少年サンデー」「ビッグコミック」編集部に勤務し、「釣りバカ日誌」「機動警察パトレイバー」「らんま1/2」「め組の大吾」「のたり松太郎」等の連載を担当。

2006年より文星芸術大マンガ専攻勤務。マンガ作品のシナリオや教本も執筆している。

- ※ 講演会終了後の懇親会は、コロナ禍を踏まえて今回も開催しません。
- ※ 同封した出欠の返信ハガキを8月22日(月)までに事務局あて必ず郵送してください。
- ※ 会員の友人・知人で講演会へ参加したい方は、会員から事務局に申し出てください。

第1回編集会議を開催・『朝明』第11号発刊へ

6月20日(月)午後3時から、おかりやにおいて朝明第11号発行に係る第1回編集会議を開催しました。6名の委員が出席しました。

特集テーマについては、各委員からいろいろな意見が提示され、これらについて活発な議論が行われました。最終的には「安らぎ—小さな集まり—」がテーマとして決まりました。表紙については、木彫作品の写真を載せることとなりました。資料に基づいて第11号の原稿提出要領が審議され、内容は前回とほぼ同じものとなりました。また、前号と同様に第11号も冊子体を電子化(PDF)して、第12号の発行後(令和5年12月)、協会公式ホームページに全文アップロードすることが改めて確認されました。

作品の提出期限は9月末日です。別添要領に基づいて作成・提出してください。

『創作への志』 会員通信 No.23 小説部門 島田 トミ子

「ずいひつの会」に加入して間もなく10年になる。さらに3年ほど前から創作にも首を突っ込んでいる。

自分が書いた文章を他の人に読まれることは、自分の内面が表に曝されている感覚があって恥ずかしかったが、次第に批評や感想を言われると、それが貴重な師匠になってくれてそれが次の作品へのエネルギーになるのを感じるようになった。

題材が、自分の見聞や体験したものからでは守備範囲が狭い、もっと自由な発想で楽しいことを創造できる力が欲しい。どこでどのように脱皮できるか、それが私の課題である。

随筆部門元会員 故石田トミ様のご遺族様から多額の寄付

随筆部門の石田トミ様が3月24日に逝去されました。この度ご遺族様から当協会へ多額の寄付がありました。今回の有り難いご寄付は、協会の安定的な運営のために大切にさせていただきます。

誠にありがとうございました。

§ 新会員紹介 § ・詩部門 岩本 久美子[鹿沼市]

* ∞ * 事務局通信 * ∞ *

コロナ禍により懇親会も久しく実施していません。会員減少をコロナの所為にしたくありませんが、イベントに集い親睦を深めるチャンスがなくなるというのは淋しいものです。何とか持ち堪えて頑張りましょう。出口の明かりは見えているはずです。(三上)